

諏訪子様が
酔いつぶれてたのぞいて...



諏訪子様が
酔いつぶれて
たこの
ので……

今日は年に一回
里じゅうで
宴会が開かれる
祭の日だ

神社の巫女や
神様が里におりて来て
酒を飲み交わし
里の者と親睦を深める
ために催される

……と建前は
さされてるが
参加者の皆の
本音はただ
酒を飲みたい
だけである



実際、

僕が意図的に
この神様を
酔い潰れさせても
周りには誰一人として
気にかけていない

そろそろ行動に
移ってもいい
頃かな……

ううっ……

諏訪子様
夜風に当たって
酔いを醒まされては
いかがですか？

ふふふ

よし誰も
ついてきて
ないな

神様など
里のお偉いさんには
随伴者が
普段いるもんだが
今日は居ない

なんせ里じゅうで
宴会がある日だから
一つの会場に
二人も割いてなんて
いられないのだろう

おかげで
僕はこうして
諏訪子様を
お持ち帰りできる
って寸法だ

一年も待った……
今日は諏訪子様と
二人の時間を
存分に楽しむんだ！

さあ僕の家
に着いたよ諏訪子様

さてと……まずは
その可愛いお口に
特製のお薬を
プレゼントしてあげる

ううん……

トザッ

にや……

びび

んんん

ん……

ズッ

ズッ

ズッ

さっきまで甘口の酒を
飲んでいたせいかな
諏訪子様の唾液
甘くておいしいよ

薬が効いてくるまで
少しだけかかるから

今のうちに
下準備でも
しておこうかな

諏訪子様の肌
すべすべで
気持ちいい……

下の口は……
おっ
もういい具合に
湿り始めてるな

ゆっくり
ほぐして
……っと

ん……

あれ……
私どうして……
たしか
お酒飲んで……
……それからの記憶が無い

それに下がなんか
むずむずする……

んん……

ゴクン

しゅわん

しゅわん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んん

んう……

頭も……
ぼーっとする

おはようございます
諏訪子様

な、なに
これ……ッ！

しっかり
ほぐしましたので
痛みは無いと思います

え……
あ……あ

わたし知らない男に
おち○ちん挿れられ
ちゃってる……?!



諏訪子様の中
すごくうねってて…
僕のを感じて
くれてるんだね

そんなわけっ…
ないでしょ……っ！

そんなこと言って
乳首も尖らせてる
くせに

くあうっ！

ひあっ！

あくっ！

体がぜんぜん
いうことを
きいてくれない

あんっ！

お酒のせい
で頭がぼー
っとして

……これは
現実なの……？

ひあっ！





ね？
諏訪子様
気持ちいい？

きもち……いい？
無理やりされて
そんなわけ……

あんっ！



ひああっ！

諏訪子様
気づいてる？

さっきから
ずっと
喘いでるんだけど

うそ……！
私そんな……っ！

あああっ！



ほら
聞こえる？
この水音

これね
諏訪子様の
愛液が音を
出してるんだよ

やだあつ！
言わないで！

うそ……私……
感じてる……の？



こんなに
濡らしておいて
感じてない
だなんて

諏訪子様は
嘘が下手だなあ

やだやだ
やだあつ！

耳まで
真っ赤にして
諏訪子様は
かわいいなあ

んっ！

やだ……
声が
抑えられない

んっ！



ほら
もっと素直に
なっつていいんだよ！

こんなの
絶対に
おかしいの

やあつ！

身体が勝手に
喜んじゃつてる
よお……っ！

あんっ！

熱いの……

奥に
出されてる……

おち○ちんが
私の中で
脈打ってる……

だめだ……
今の……

すっごく
気持ちよかった……

とっても
酔いが回るから
すーぐ気持ちよ
なれるからね

直接
お尻からお酒を
飲んでもらおうねえ

うーん
まだ素直に
なりきれない
みたいだね

そういう子には
特別に……

はひっ！
ああああ……っ

漏れないように
指で蓋しておいて
あげるね

やああ……



十数分後

ほら
諏訪子ちゃん
上に跨って

あ……
うう……

くっ……

ん……

いいよー
そのままゆっくり
腰を下ろしてね





諏訪子ちゃんの
ナカとっても
気持ちいいよ

君のこと前から
気になってんだ

これからはず
僕とずっと
一緒に暮らそうよ

むしろもう絶対に
帰さないから

アッ

アッ

アッ

ズッ

ズッ

ゴッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

愛してるよ
諏訪子ちゃん

Beats

ほら見て
こんなに
いっばい
出てるよ

Beats

Beats

Beats

僕たち
身体の相性
抜群だね

Beats

Beats

Beats

Beats

Beats

Beats

Beats





これ
どうすればいいか
わかるよね？

ほら見て
諏訪子ちゃん



はい……

そうそう
良い子だね

綺麗になったら
ご褒美にもう一回
してあげるから

頑張っ
てお掃除
しようね

……はら

……

……

……

■あしがき

この度は拙作を手にとっていただき誠にありがとうございます。
しろくろうさのスギユウと申します。

路上や居酒屋で動けなくなっている女性をお持ち帰りしてやってしまう内容の作品が
大好物なのですが、以前から描こう描こうと思いつつ、つい他のテーマに浮気して
していました。

しかし！
今回ついに描くことができ満足しております！！

東方二次創作界限ではケロちゃん＝性豪なイメージが若干強いですが、今回描いた
ケロちゃんはウブで一般的な女の子として描かせてもらいました。
泥酔してタガが外れてノリノリのビ○チ少女になるというのも悪くないのですが、
……いや……悪くないぞ………いいんじゃないかこれ！（天から射す光）
とまあ上のは半分冗談として、今年はしっかり陵辱モノを描くという目標に基づいて
描き始めましたので、今年はこんなかんじの作品の雰囲気でいこうと思います。

今回の漫画で一番苦労したのは塗り！特に髪の毛！！
ネームを切る前にイラストでケロちゃんの練習をしようと思ひまして、
ツイッター投稿用として1枚イラストを仕上げました。
その絵は特に"髪の毛の塗り方"に重点を置いて、今までの塗りから一新した方法で描いたのですが
それがなかなか良い具合に塗れまして。
何も考えず「ついでにこれ表紙にしちゃえ！」と表紙採用してしまったのがおバカでした。
全力イラストクオリティだったので、漫画にする事を一切考えてない塗りのその絵。
それで本文を塗ることになってしまったのです！！！！！！！！！！
顔の多いページは頭を抱えてました。リアルに。
行き当たりばったりではダメですね。
9月末のイベントの原稿を犠牲にして、なんとか秋季例大祭には間に合わせられました。
でもね……絵柄の模索すげえ楽しいの……（反省してない）。

今年も終わりが見えてきました。
冬コミ受かっててくれー！
受かっていましたら、てみちゃん催眠本本の予定です。
催眠は2年前？くらいに出したパチュリー一本以来なので楽しみです。
どこかで見かけましたら何卒よろしくお願いいたしますー！

■おくづけ

原作：上海アリス幻楽団 様
印刷：プリントネット 様

発行日：2017/10/15
発行：しろくろうさ
責任：スギユウ
連絡先：yuu_819_as@hotmail.com

twitter：@sugiyuu
pixivID：97799



TohoProjectFanbook
『諏訪子様が酔いつぶれてたので…』
2017/10/15

